



山下 直子さん

鹿児島市出身。日本語教師として大学、専門学校、小学校などに通う外国からの学生や、ウクライナの避難民の方などに日本語を教えています。大崎でも日本語教室をおこないました。

高校生のころから国際交流に興味を持っていました。高校の英語の先生が良い先生で、英語が好きになり、外国のペンフレンドと文通をしていました。大学院で韓国に留学中に、中学生や大学生に日本語を教えるチャンスがあり、そこで知り合った韓国の大学生から「日本語教師という仕事があるんだよ」と教えてもらいました。楽しそうな仕事だと思い、帰国してすぐに専門学校に通い、資格を取得しました。

「日本人と会話したい」という思いが根っこにある

大崎で開催された日本語教室は、地域で教えた初めての経験でした。来てくれた外国人の方には「日本人と会話したい」という思いが根っこにあると思います。大切にしたのは、日本のことをインプットされることの方が多い外国人たちが、自分たちのことを発信できるような場にするのでした。日本人の方にも会話の相手役として参加してもらいましたが、主に聞き役になってもらいました。

相手に興味を持つ、そういったアンテナを張って話しかける

地域の外国人と交流するのに、まずは一言あいさつから始めてみてはどうでしょうか。「おはよう」「こんにちは」「毎日あいさつを交わしているうちに、きつとある日、お互いにもっと話したくなるのではないのでしょうか。私も、教室の中でも外でも、相手に興味を持つ、そういったアンテナを張って話しかけることを心がけています。■

山下先生の 外国人との話し方のポイント！

1. まず日本語で話しかけてみる。
2. 分からなかったら、文をどんどん短く。
3. 分からない言葉は、言葉を替えて試す。
4. 知らない言葉は絵や写真を見せる。
5. 最後はスマホなどの翻訳機を使っても、相手が持っている場合も多い！



グエン ヴァン ツ Nguyen Van Duさん

愛称ズーさん。ベトナム、ニンビン出身。マルおおさきでおこなわれた日本語教室に参加しました。インタビューにも日本語で挑戦。分からないときも始終和かに忍耐強く質問に答えていました。

アニメは日本語の良い勉強になります

日本に最初に来たのは2019年。今は特定（特定技能在留資格のこと）で大崎の畜産の会社で働き始めて半年になります。家でひとり日本語の勉強をしています。アニメを観て勉強しています。「NARUTO」が好きです。アニメは日本語の良い勉強になります。休みの日は日曜日です。歩いてだいわに行ったり、家の掃除をします。趣味はサッカーです。ワールドカップを観ています。料理も好きです。ベトナムのカレーを作るのが好きです。日本の野菜や魚は好きです。パクチーが手に入らないので欲しいです。■

まずは、あいさつから！
世界に友達をつくらう

インタビューにご協力いただいたみなさん
ありがとうございました！

取材協力: 有限会社大崎農園

この記事は、一般財団法人自治体国際協会の助成により、大崎町よりCOMU LLCが委託され作成したものです。

